

アイデアスケッチ 「箱の中身は何だろう。」

「箱を開けたら……〇〇の世界」何があるのでしょうか。あなたのアイデアを描いてきてください。」

1 BOXアートの前回までの解説

1 学期の授業では、箱を作っておりました。途中まで進みましたね。

正確に形を作るには、道具の使い方が大事でした。カッターの使い方、覚えていますか。

(1) 定規は、後ろ側を使う。

メモリがある部分は、細いため、安定しませんでした。

(2) カッターはひじから引く。

手首で引くと、安定した動きができませんでした。なるべく大きく動かすことが大事でした。

(3) 最初はしっかり入れる。

カッターで一番大事なのは、最初にしっかり刃を入れることです。一番最初が切れていないと、ちぎったり破いたりする原因になりました。

授業が再開したら箱を完成させましょう。

2 題材の説明

机の上に作った箱がある様子をイメージしてください。あなたは、ゆっくり箱を開けます。箱はホールケーキのデザインでした。開けると中には何かが入っています。

その中には何かの世界があります。何が「いる」でしょうか。何が「ある」でしょうか。どんな「空間」が広がっているでしょうか。頭の中でイメージしてください。

(1) 「もの」……具体的な「もの」の意

「花が咲いている」「猫がいる」「家がある」「お化けが出る」「船がある」「時計がある」「ハートがある」「不思議な生物がいる」「お菓子があある」などなど。具体的な形を表現することを意味しています。ふたを開けたとき、出てきたら面白いと感じる「具体的な形」を表現してもよい。という意味です。

(2) 「こと」……出来事の意

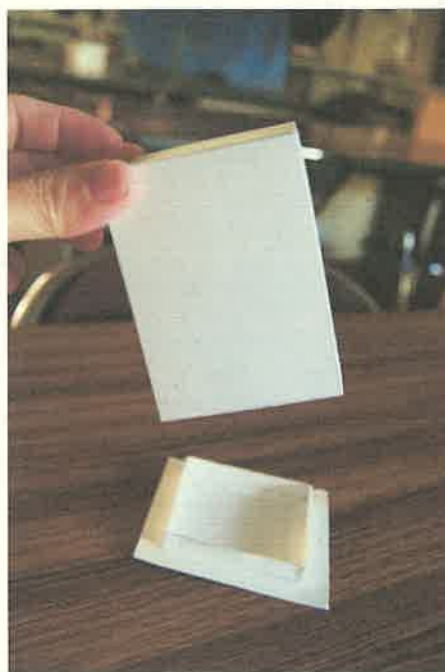
「猫とネズミが追いかっこをしている」「花に水をやっている」「パンダが笹を食べている」「星を追いかけている」「風が吹いている」「命を生み出している」などなど。場面と言い換えることができるでしょう。これも具体的なイメージがありますが、「もの」よりもイメージが広く、物

語性が高いです。

(3) 空間……中にあることで、何か感じられるもの

「花びらで埋め尽くされている」「様々な色の球体が詰まっている」「羽が浮いている」「幾何学模様で構成されている」「暖かいを感じる何かが入っている」などなど。

様々な方法で、箱の中を考えてください。ふたを開けたとき、あなたの感性で立体表現を行って下さい。自由な発想で作ってください。



3 課題「アイデアスケッチ」

A4程度の用紙に制作する立体のアイデアスケッチをしてください。

- ・ 2～3以上は考えてください。
- ・ 何が入っているか。またどんな世界が広がっているが、言葉で説明してください。

授業再開後、美術ファイルに入れて提出してもらいます。

楽しいアイデアを待っています。

授業が再開したら、中身を粘土で制作します。

ノートの評価 板書 アイデアスケッチなどなど。立体を制作するために考えたことを、絵や文章で書いている。(アイデアスケッチで何を作るか伝わる。)